

新医学系指针对应「情報公開文書」改訂フォーム

研究協力をお願い

昭和大学藤が丘病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

当教室における胆嚢摘出術の臨床的後ろ向き研究

1. 研究の対象および研究対象期間

2017年1月から2027年3月までに施行した胆嚢摘出術を受けられた方

2. 研究目的・方法

胆嚢炎に対しては外科手術が治療の中心となっているが、炎症の程度や患者の基礎疾患（抗凝固剤内服など）により、緊急手術・待機手術・胆道ドレナージ後の順緊急手術など手術時期は様々である。2015年に胆嚢炎・胆管炎の診療ガイドラインが発行され、おおむねガイドラインに沿った治療方針がとられているが、個々の症例における手術のタイミングについては施設間で若干の差があるのが現状である。本研究では当院における胆嚢炎症例の治療成績を後方視的に解析し、現行の治療方針が妥当であるか、また、手術時のリスク因子の有無などを検討する。

研究期間

2019年11月11日～2027年3月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

2017年1月1日から2027年3月31日までに胆嚢摘出術を施行した患者データから、年齢、性別、身長、体重、BMI、入院日、手術日、入院期間、術後在院日数、緊急手術の有無、術式、開腹移行の有無、開腹理由、手術時間、麻酔時間、出血量、輸液量、輸血の有無、結石の有無、結石のsize・位置、胆嚢頸部壁厚、ドレーンの有無、ドレーン挿入部位、ドレーン抜去日、病理所見、悪性所見の有無、食事開始日、主訴、急性膵炎歴、急性膵炎 CT grade、OPE 歴、待機中の再燃、PTGBD の有無、入院～処置の期間、処置～手術の期間、ERCP の有無、既往歴、内服歴、MRCP 施行の有無、胆嚢管開存の有無、術者、WBC、術後 WBC、CRP、術後 CRP、MAX WBC、MAX CRP、Pit、PT-INR、Alb ALP、MAX ALP、術後合併症 を調査対象とする。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及

び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学藤が丘病院 消化器・一般外科

氏名：塩澤 敏光

住所：神奈川県横浜市青葉区藤が丘 1-30

電話番号：045-971-1151

研究責任者：塩澤 敏光